

埋蔵文化財の活用①

生涯学習課では、遺跡発掘調査や出土品の整理・収蔵・展示などについて、多くの市民の方々に活用していただけるような取り組みを実践しています。

高校生のインターンシップ

7月12日（木）、市役所にインターンシップに来た新発田南高校2年生4名が、市道建設に先立ち発掘調査を実施している蕪木遺跡（堀越地内）の発掘調査現場を見学しました。

遺跡では、約千年前の土器が出土している様子、地震の痕跡などの説明に、興味を持って聞き入っていました。



大学など研究機関への協力

7月23日（月）～8月3日（金）の2週間、ドイツ・テュービンゲン大学の留学生2名が研修に来ました。この研修の受け入れは今年で5年目になり、毎年恒例のイベントになっています。

猛暑が続く毎日でしたが、今年は発掘調査・室内作業の研修の合間に、阿賀野市内の名所などを見学する機会を設けました。2人とも、阿賀野市の魅力を十分に満喫したようです。

最終日には、新潟大学附属新潟小学校3年生と一緒に体験学習をしました。研修とともに、良い思い出になったと思います。

8月8日（水）には、北陸学院大学総合人間学部の小林正史先生が来ました。新潟市出身の先生は、高校生のときに旧安田町の発掘調査に参加されたこともあります。

今回は、石船戸遺跡の土器に残るスス・コゲの調査を行いました。旧大和小学校2Fの埋蔵文化財収蔵庫でたくさんの土器の観察・写真撮影をして、今後実施するワークショップの準備をしました。

8月20日（月）～8月24日（金）には、鶴見大学文学部文化財学科学学生が発掘調査の研修に来ました。市内大室出身の間野さんは、将来文化財関係の仕事に携わりたいと、大学で勉強しています。

今回の研修は、きっと将来に役立つ有意義な体験であったと思います。

